

鹿児島市国際交流だより

KIEX



なび

※KIEXとは、公益財団法人 鹿児島市国際交流財団 の英語表記 Kagoshima International Exchange Foundation の略称です。

Vol. **21**
2019. 7



Event Report

- 1 中国語おしゃべり会
- 2 災害時における外国人対応セミナー
- 3 日本語支援ボランティア養成講座
- 4 英語と韓国語の絵本の読み聞かせ
- 5 国際協力体験イベント
- 6 ハーティーパーティー

コラム ▶ 鹿児島とジョージア州

鹿児島とジョージア州



Kagoshima and Georgia



アメリカ合衆国ジョージア州の大学2年生、ポーター利南さんが国際交流財団にインターンに来てくれました。ポーターさんがジョージア州について紹介してくれます。

日本とジョージア州には長い歴史があります。日本とジョージア州の関係は1912年に始まりました。日本がメイコン市に何千もの桜の木をあげたおかげでした。今でもメイコン市は北アメリカの中では最も桜の多い都市です。



日本とジョージアの関係

ジョージア州と鹿児島県はシスターステイト(姉妹盟約)を結んでいます。

1974年にアトランタで日本総領事館が開かれました。毎年9月にジャパンフェスタがアトランタで行われています。コロンバス市と桐生市はシスターシティー(姉妹都市)です。毎日アトランタから東京までの直行便があります。



ジョージア州は南東アメリカにあります。1996年のオリンピックはアトランタでおこなわれました。鹿児島とジョージアは似ているところがたくさんあります。鹿児島みたいにジョージアも南にあります。天気も似ていて、夏の際は蒸し暑くなります。日本で多く使われている保険会社のアフラックはコロンバスで始まりました。



私の好きな食べ物♪
コロンバスにある11th&ベイレストランのハンバーガーが大好きです。このハンバーガーの特徴はハンバーガーにマカロニ&チーズが乗っていることです。



私の好きな風景♪
ジョージアにはハイキングをする場所が多いです。ヨナ山ハイキングトレールは6.8kmですが、最後にある景色がとても綺麗です。

ポーターさんへのインタビュー

interview

Q 自己紹介をお願いします。
Please introduce yourself.



A 私の名前はポーター利南です。北ジョージア大学の二年生です。私の専攻はアジア国際関係論です。私の母は日本人で、小さいころから日本語を勉強しています。卒業したら国務省で働きたいと思っています。
My name is Lina Porter. I am a sophomore at the University of North Georgia. My major is International Affairs with a concentration in Asia. My mother is Japanese and I have been learning Japanese from a young age. After graduating, I would like to pursue a career at the State Department.

Q 鹿児島とは何か関係はありますか？
Do you have any special ties with Kagoshima?

A 母は鹿児島出身で、家族も鹿児島に住んでいるので毎年夏休みの時遊びに来ます。来るとき、おばあさんの家に泊まって日本の学校に通って友達がたくさんできました。
My mother is from Kagoshima and I have family that live

here. I visit every summer and stay with my grandmother. In previous years I attended school, so I have made many friends in Kagoshima.

Q 鹿児島市国際交流財団でインターンをした理由を教えてください。
Why did you decide to complete an internship at KIEF?

A 同じ国際関係だということで、ここでインターンしたら将来の仕事に役立つと思いました。私も外国人として鹿児島に来ているので、鹿児島市と外国人との関係がもっと詳しく知りたかったです。
Not only is it similar to the study of international affairs but since I am a foreigner visiting Kagoshima, I wanted to learn more about the relationship between Kagoshima city and other foreigners and how they are able to appreciate each other's cultures.

Q ありがとうございました。
Thank you



申込方法

参加をご希望の方は、はがき・FAX・Eメール等で

1. イベント名
2. 住所
3. 参加者全員の氏名(ふりがな)
4. 年齢
5. 電話番号を書いて下さい。

Enjoy!

Smile

国際交流探訪バスツアー

伊佐市を巡りながら国際交流をする日帰りバスツアー
 ※曾木発電所遺構見学、ウォータースポーツ、ピザ焼き体験 など

- 日時** 8月25日(日)
- 場所** かがしま市民福祉プラザ集合・解散
- 定員** 80名 ※超えたら抽選
- 参加料** 一般2,500円 ※国際交流財団会員・外国人2,000円
- 申込期限** 8月16日(金)(必着)

料理から学ぶ韓国文化理解教室

トックポッキなどの韓国料理を通して、食にまつわる韓国文化を勉強する文化教室です。美味しい韓国料理を作って食しながら、韓国を身近に感じましょう♪

- 日時** 9月15日(日) 11:00~13:30
- 場所** かがしま県民交流センター 調理実習室
- 定員** 30名(超えたら抽選する場合があります)
- 参加料** 1,000円(財団会員500円)
- 申込期限** 8月26日(月)

アジアん・鹿児島2019 第14回かごしまアジア青少年芸術祭

アジアの各地から青少年が一堂に集い、舞踊や楽器演奏などを披露！
 1日目の「青少年音楽祭」と2日目の「アジアんフェスタ」を通して、アジアの魅力に触れましょう！



- 日時・場所** 10月19日(土) 12:30~(12:00開場) 宝山ホール
- 10月20日(日) 10:30~16:30 中央公園
- 参加料** 無料・整理券なし



かごしまアジア青少年芸術祭 通訳ボランティア募集

アジアの青少年が鹿児島に集結！彼らに同行し、コミュニケーションのサポートをしてくださる方を募集します。

- 対象** 中国語、韓国語、インドネシア語、マレー語、ミャンマー語、タイ語、ベトナム語の通訳業務に対応できる方
- 日時** 10月16日(水)~23日(水)の期間中活動が可能な日
- ※詳しくは当財団ホームページをご確認ください。

賛助会員募集!

~市民の皆さまによって支えられています~

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。
 鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してくださる賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 各種イベントへの優先案内及び参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員 (1口) 1,000円
(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員 (1口) 10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページでもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申請書を送付いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島の発展に寄与することを目的としています。



〒892-0816 鹿児島市山下町15-1 かがしま市民福祉プラザ3階
 電話:099-226-5931(コクサイ) Fax:099-239-9258
 E-mail: kokusai@kiex.jp ホームページ: http://www.kiex.jp
 開館時間 9:00~17:45
 休館日 月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始(12月29日~1月3日)

国際交流の推進

市民と外国人の親善・交流を深めよう!

国際理解の推進

市民と在住外国人がお互いのことをもっと知ってもらおう!

国際協力の推進

市民による国際協力・貢献活動を支援します!

多文化共生の地域づくりの推進

市民と在住外国人が共に生きていく地域づくりを支援します!



Event Report

イベントレポート

中国語おしゃべり会

- 開催日 3月10日(日)
- 場 所 つばめcafé

鹿児島に住む中国語を母語とする方、または中国語を話せる方を対象に、中国語おしゃべり会を開催し、14名の方が参加してくださいました。留学生や会社員、主婦や自営業の方など、さまざまなバックグラウンドを持つ方が集まり、中国語を学ぶコツや、日常生活で困っていることをお互いに相談できる良い機会となりました。



〇〇語おしゃべり会の リクエスト募集!!



鹿児島市国際交流財団では「〇〇語で交流したい!」という日本人及び在住外国人の皆さんのご意見を大募集しています!!

日本に住んでいるとなかなか母語を話せないと思っている方、習得した外国語を話したいと思っている方、ぜひそのご希望をお伝えください!! お待ちしております!!

災害時における外国人対応セミナー

- 開催日 3月15日(金)
- 場 所 市教育総合センター

「多文化共生の地域づくりの推進」事業の一環として、多文化共生の第一人者である田村太郎氏(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)を講師にお招きし、災害時における在住外国人の避難行動を支援することを目的とした研修会を実施し、行政職員35名と外国人住民11名の合計46名に参加していただきました。

参加者には、講義開始前、受付において、「言葉が全く通じない中で受付対応をされる体験」をしていただきました。これは、外国人住民の皆さんに受付スタッフになっていただき、各人の母語(ベトナム語、中国語、スペイン語など)での対応とマンマー文字で書かれた受付名簿を使った対応を受けることで、「言葉が通じない・わからない」ということを体験で感じていただくことを目的とし

たものでした。

講義はワークショップ形式で行い、まず、北海道地震のときの札幌市の状況と同様に「鹿児島中央駅周辺に外国人が集まってきて混乱している」という想定で、実際に外国人住民の皆さんを相手に対応していただきながら、自治体サイドでどんな情報をどのように提供すれば良いのかを考えるグループワークを行い、その後、講師から「災害発生後の外国人対応」について、災害時になぜ外国人対応が必要なのか、どのような配慮が必要なのか等を、昨年の西日本の豪雨、大阪府北部地震(震度6弱)、北海道胆振東部地震(震度7)の後の各自治体での対応をケーススタディとしてお話しいただきました。



協力して下さった外国人住民の皆さん



受付の様子



ワークショップ



講師:田村太郎氏

参加者の感想

通勤時や外出時に外国人を見かけることが多くなってきており、災害時の外国人対応は身近な問題だと感じている。言語の問題にばかり目が行きがちだが、それぞれが持っている予備知識の量や永住者の存在なども頭に入れながら、対応を考えていきたい。(20代)

災害時、外国人とのコミュニケーションの取り方の難しさ、行政として何をすべきかということをとっても考えさせられる研修でした。いつくるかわからない災害のために鹿児島市も必ず取り組まねばならない課題が見つかったと思います。(30代)

受付での外国語がわからずガックリすると同時に、外国の方の気持ちが大変わかる気がしました。有事の際の計画策定の際は参考にさせていただきます。大変勉強になりました。(40代)

日本語支援ボランティア養成講座

- 開催日 2月19日(火)～3月19日(火) 全5回
- 場所 市教育総合センター

「生活者としての外国人」のためのマンツーマンでの日本語支援「さくら」で活動するボランティアとしての知識を得、実践するための講座を各回3時間ずつの全5回行い、32名の参加がありました。

「教える(先生)／学ぶ(生徒)」の関係よりも、「外国人が日本で生活をしやすいするためのお手伝いをする」という考え方が重要になるので、最初は発想の転換に苦労されている方も多かったようですが、講座が進むにつれてボランティアとしての日本語支援がいかに重要か、ということに納得され、これからの実のある活動に繋がっていくことがうかがえました。

全5回の締めくくりとして、最後の回には実際の日本語支援の生徒さんである外国人の方々などにも参加して



いただき、マンツーマンでの支援体験を行いました。色々と頭を悩ませて準備をした資料を使った支援で、実際に生徒さんが「おおなるほど！本当によく分かります！」などと純粋な反応を見せてくれることが、日本語支援の入り口への大きな第一歩です。

5月から今年度の日本語支援が本格的にスタートしました。そちらにも受講生の方が多く参加されていて、新たな支援の輪が広がっています。



ミニコラム

※「生活者としての外国人」のための日本語支援とは？(参考:文化庁)

対象

「生活」という側面に重きを置いた場合の、日本で日常的な生活を送る全ての外国人



日本語支援での目標

日本語を使って、①健康かつ安全に、②自立して、③相互に理解したうえで社会の一員として、④文化的な生活が送れるようにすること。

つまり

文法や試験のための日本語学習とは少し違い、例えば「ある外国人の方が、買ったものの返品をしたいのだけど、どこに行ったら何をすればいいかわからない？」という疑問があれば、買い物の仕方や返品の方法などを一緒にシミュレーションするなど、日本で生活する中でのそれぞれの在住外国人の方のニーズに合わせた支援を行うものです。



親子イベント「英語と韓国語絵本読み聞かせ」

- 開催日 3月21日(木、春分の日)
- 場所 かごしま市民福祉プラザ

外国語絵本読み聞かせでは、子どもたちの年齢に合わせて、国の文化の紹介や絵本の内容を講師と話し合いますが、今回の講師、アメリカ出身のブリアナさんと韓国出身の李さんは、とても悩みました。参加者10家族25人の半分が、1歳～2歳の子たちだったからです。

小さい頃から、色々な国の言葉に触れさせてあげたいという保護者の熱意が二人の先生たちにとっても響きました。

絵本選びに悩んだ二人でしたが、子どもたちが興味を引くように、工夫を凝らしました。ブリアナさんは、ただ座って英語絵本を読むのではなく、子どもたちと部屋中を歩き回り、体全体を使って英語を体感させました。李さんは、エリックカールの「はらぺこあおむし」の韓国語版に出てくる数字や言葉等、子どもたちがマネしやすい言



葉を抜粋して、韓国語を教えました。二人の先生の趣向が功を奏し、小さい年齢のお子さんたちでも、ニコニコ笑顔で外国語に興味を持っていたのが印象的でした。これからも、色んな言語に触れる機会を提供していきますので、是非、ご参加ください。



参加者の声

英語も韓国語も楽しかったです。普段、子どもは英語にふれあう機会はありませんが、韓国語はないので、とても良い機会でした。(1歳と3歳の子のお母さん)

国際協力体験イベント

- 開催日 3月24日(日)
- 場 所 かがしま市民福祉プラザ



ワークショップやゲームを通して、楽しく国際協力への理解を深めることを目的に、国際協力体験イベントを開催し、中高大学生の16名の方が参加してくださいました。今年は、JICAデスク鹿児島の外西さん、青年海外協力隊OB会の桑山さんを講師に迎え、身近な「スマートフォン」をテーマに、グローバル経済の仕組みや、製造過程で発生している社会問題・人権問題などを学び、自分たちに何ができるのかということを考える貴重な機会となりました。ワークショップの最後は、パキスタン・タイ・スリランカのスイーツを囲んでの試食会を行い、初めて食べるスイーツを楽しみながら交流を深めることが出来ました。



参加者の声

自分は国際協力とは、国の大きな規模のものだと思っていましたが、スマホのように自分の身近なことから国際協力ができるのだと思いました。

ハーティーパーティー ～春の新入外国人歓迎交流会～

- 開催日 4月21日(日)
- 場 所 中央公民館



鹿児島市の国際交流イベントの中では最大級である、ハーティーパーティーを今年も開催しました。新たに鹿児島に来られた人が中心の外国人92名と日本人参加者213名、合わせて300名の参加者が、会場である鹿児島市中央公民館に足を運んでくださいました。

会場にはいろんな体験ブースが用意されて、外国人の皆さんは生け花、茶道、着物着付けなどの日本文化を満喫しました。また、日本人参加者の皆さんも、異文化体験ブースで中国・オーストラリア・マレーシア・ベトナム・韓国の5つの国の遊びや芸術、情報などをそれぞれの国の

出身者から楽しく交流しながら学びました。そして、様々な国の民族衣装が試着できるブースもあって、派手な衣装を身にまとって笑顔で写真を撮る姿も見られました。

会場の真ん中には世界のお菓子コーナーが用意され、色々な国で作られた様々なお菓子を美味しく食べながら参加者の皆さんはお互いに交流していました。

パーティーのクライマックスでは、九州日本語学校のベトナム人留学生の皆さんが素敵な伝統舞踊を披露してくださいました。そして締めは鹿児島の風物詩、おはら節！参加者の皆さんで円になって楽しく踊りました。



質問

パーティーで出会った新しいお友達にメッセージがあったら書いてください。



①ネパール人の参加者

I met a Japanese family having 4 members. Really they were kind and amazing. They told a lot about Japan and about this party. We ate, danced and stayed whole the party. I really liked them.

パーティーでは4名の日本人家族と出会いました。本当に親切で素晴らしい家族でした。日本やこのパーティーについてたくさんの事を教えてくれました。パーティーの間中、一緒にご飯を食べたり、踊ったりして、本当にその家族のことが好きになりました。

②フィリピン人の参加者

Everyone was very friendly! The staffs did a very good job that this event went well. I hope this will continue to encourage and give opportunity not only to the exchange student but also to the Japanese people to engage in other nationalities and find some good experience that can help each other understand the differences of culture and people.

みなさん本当にフレンドリーでした。スタッフのみなさんの努力のおかげでこのイベントはとても上手く流れていました。交換留学生だけでなく日本人の皆さんにとっても、異国に入り込み、様々な文化や人々の違いを理解するととてもいい経験になるこのイベントをこれからも続けて、良い機会を与えて欲しいです。